

校番	031	ホームルーム活動	生徒会活動	○	学校行事	別紙様式
----	-----	----------	-------	---	------	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島県立松永高等学校	校長	山垣内 俊行	生徒指導主事	石田 達生
-----	------------	----	--------	--------	-------

**取組事例名 『月1（イチ）ボランティア』**

**取組のねらい『自分たちの居場所は自分たちできれいにしよう』**

生徒会長の思い「校舎をきれいにしたい」、副会長の選挙公約「学校をきれいにし、愛される学校にする」を基にボランティア清掃活動を行う。活動を通して、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする態度を養うとともに、活動の輪を拡げていく。

**取組の具体的内容『松高ピカピカ大作戦』**

学校経営計画支援事業に「松高ピカピカ大作戦」で応募し、清掃用具（高圧洗浄機2台）を購入する。昇降口に「目安箱」を設置する。続いて、各クラスに「ドラえもんBOX」を設置し、広く意見を求める。  
 9月から「生徒会だより」を発行し、「月1（イチ）ボランティア」の情報などを生徒に広く周知する。月に1回「テーマ」を決めて、放課後に1時間程度清掃活動を行う。  
 「生徒会だより」を通して、成果報告と次回の案内を行う。



## 取組の課題・創意工夫『目安箱・ドラえもんBOX』

今月で5回目となる。少しずつではあるが、参加者は増加傾向にある。各クラスに「ドラえもんBOX」を置いたことや「生徒会だより」の発行が、生徒会執行部と他の生徒とのコミュニケーションツールとなり、情報の共有化が図られ、生徒会活動の活性化につながることを期待するものとなっている。情報共有をより深めていくために、「生徒会だより」等の内容の充実を図るとともに、情報を周知する方法を工夫していかなければならない。

生徒会だより

第5号 平成30年10月14日発行  
発行所 松山高専学校生徒会執行部  
責任者 生徒会 竹 内 薫 菜

運動会 お疲れ様でした!!

皆さん運動会が  
大成功でした。  
1ヶ月を振り返っ  
ていると、生徒会  
活動はほめて  
感謝しています。

12月の月1ボランティアは...  
更衣室をやりませ!! (外!!)  
「土曜朝服が汚れたらどうするんか?」  
日付: 12月16日(金) 球技大会の時!!  
集合場所: 運動場の更衣室前  
よしくお疲れ様です!!

運動会の下調べ結果です!!

なんと92%の人が賛成!!  
答えてくれた!!  
新種目のメンバー  
どうですか? お返事が  
来なくて困ります!!  
来年も頑張りたい!!  
思っています!!

次は球技大会です!!

私は去年、自分がチームの  
どこの選手か、誰がよか  
かたので、今年もチームに  
わが所属したい!!  
お楽しみに!! (笑)

11月の月1ボランティア  
キレイにしたいところ 募集中!!

11月の月1ボランティア  
ありがとうございました!!  
11月のボランティア  
と、キレイにしたいところ  
頑張ります!!

生徒会だより

第5号 平成30年10月14日発行  
発行所 松山高専学校生徒会執行部  
責任者 生徒会 竹 内 薫 菜

11月の月1ボランティアは  
高圧洗浄機を  
使います!!!

名前つけんと  
使えませ!!

と、いろいろ  
名前募集しよう

10月の月1ボランティアは...  
20日(木)に行きます!!

場所は 運動場です。  
放課後16時～17時に集合してください!!  
たくさん参加してください!!

お疲れ様です!!  
10月のボランティア  
ありがとうございました!!  
たくさん参加してください!!

たくさん  
意見が出てます!!

## 取組の成果（効果）『生活環境・学習環境の維持向上』

参加人数はまだ少ないものの、参加した生徒は、自らの生活環境や学習環境を自分たちの手で整備したことで、達成感や充実感を味わい、仲間とともに協力し課題解決をめざす能力を身に付けることができたと考える。また、参加していない生徒も、汚れていた所が仲間たちの力できれいになっているのを見て、意識が変わり心が動かされていくのではと考えている。

## 今後の展開『小さな輪から大きな輪へ』

今後は、これまで参加してきた生徒たちがさらに友達を1人でも2人でも多く巻き込み、大きな輪へと広げていくこと。そして、校内での活動を充実させるとともに、校外での活動も企画・実施し、当たり前のことが当たり前のできる学校として、地域から頼りにされ、愛される存在になっていきたい。

## 他校へのアドバイス『継続、そして伝統へ』

これまでも「美化女子隊」などとして清掃活動等を行ってきたが、先輩から後輩へと十分繋がっているとは言えないのが課題である。しかし、松高生の取組として継続させていくことで今年度の活動が来年再来年へと繋がり、「伝統」と呼べるものにまでなっていくのではないかと考える。